

まちの駅連絡協議会緊急企画 「心のくつした便」への

ご協力への御礼とご報告

2011. 12. 26

まちの駅連絡協議会緊急企画「心のくつした便」プロジェクト実行委員会

「心のくつした便」実行委員会では、今回で2回目となる「心のくつした便」への参加者を、11月11日よりまちの駅のホームページやSNS、新聞、口コミ等で広く呼びかけてきました。

今回は東日本大震災で避難されている福島県大熊町の仮設住宅のある会津若松市のNPO会津地域連携センターには、12月23日までに、1,326個のくつした便が届きました。

心のこもったメッセージと贈り物をたくさんお送りいただきありがとうございました。

今回のくつした便は、受入れ事務局となった会津地域連携センターのスタッフの皆さんのきめ細かな配慮と協力により実現できたものです。

また24日のお届け日に向けて、ボランティアサンタクロースの皆さんが、全国から26名お集まりいただき、市内12箇所にある仮設住宅に贈り物とメッセージをお届けしました。サンタクロースのみなさん、ご協力ありがとうございました。

サンタクロースとして参加した私たちは、仮設住宅にお住まいの方を元気づけるどころか、逆に子供たちから元気をいただく場面がたくさんありました。

くつした便を受け取った被災地の方々が少しでも希望がもてるようになることをお祈りすると共に、この活動にかかわった方が元気をいただき、今後日頃のコミュニケーションが一層活発に行われ、強い絆ができることを期待しております。



大熊町長を囲んで出発式



仮設住宅で元気な子供たちとサンタ